



横田 誠議員(新風)

## 子育て環境について

質問方式  
一問一答

Q 妊娠期から子育て期にわたるさまざまなニーズに対し、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点である子育て世代包括支援センターは、少子化社会対策大綱及びまち・ひと・しごと創生総合戦略において、おおむね平成32年度末までに、全国展開を目指すと位置づけをされている。子育て世代包括支援センターの本市への設置について、どのような見解を持っているのか伺いたい。

A こども福祉部長

子育て世代包括支援センターの設置については、政府のニッポン一億総活躍プランに基づき、平成32年度末までに全国展開を目指し、取り組むことになります。本市も、平成32年度末までの設置を目指して検討を行っています。

☆今後の市有施設における民間活力の活用について



## その他の質問

☆新国土形成計画と佐野市の役割について  
☆第2次佐野市総合計画について



▲ 新合保育園



田所 良夫議員(新風)

## 赤見城保育園と石塚保育園と新合保育園の統合について

質問方式  
一問一答

Q 赤見城保育園、石塚保育園、新合保育園の3園の統合計画は、現状どうなっているのか。

A こども福祉部長

3園のうち新合保育園については、入所児童が減少し、在園児が15人となつている状況から、統合計画に先立ち、今年度末で閉園を検討しています。今後は在園児の保護者ときめ細やかな相談の場を設け、方向性を決定していきたいと考えています。

また、石塚保育園と赤見城保育園については、統合保育園を整備するに際し、民間活力を導入し、民設民営により整備を計画していることがわかりました。今後は在園児の保護者ときめ細やかな相談の場を設け、方向性を決定していきたいと考えています。

Q 昭和61年3月、重要無形文化財保持者（人間国宝）に鉄絵陶器で認定され、同年4月に東京芸術大学名誉教授に推され、客員教授に就任し、佐野市名誉市民に推挙された佐野市の大芸術家、田村耕一先生の生誕100年を記念してどのような企画を考えているのか。また、さのまると「ラボレーション」することで認知度アップにつながると考えるがどうか。

A 産業文化部長

企画はこれから検討しますが、人間国宝記念し、先生の68年間にわたる功績をたどり、そのすばらしさに触れる機会の提供を考えています。

企画はこれから検討しますが、人間国宝田村耕一陶芸館で年間を通しての生誕100年企画展や、吉澤記念美術館で国内各地にある代表作の里帰りを中心とした特別企画展、記念講演会、ギャラリートーク、記念図録の作成等を考えています。さのまるとのコラボレーションについて、認知度アップの相乗効果が期待できますので、企画を考えています。

☆その他質問



飯田 昌弘議員(蒼生会)

## 観光立市戦略における「さのまる」の更なる認知度アップについて

質問方式  
一問一答

飯田 昌弘議員(蒼生会)